

# 平成22年度日本植物病理学会関東部会プログラム

平成22年9月16日(木)・17日(金)  
文部科学省研究交流センター(茨城県つくば市)  
国際会議場

講演10分(予鈴8分), 討論2分

9月16日(木)午前

10:15 開会挨拶(関東部会長:阿久津克己)

---

座長:河又 仁

- 1 10:20 ○山内智史・佐藤 衛\*・堀之内勇人\*\*・酒井和彦\*\*\*・米本謙悟\*\*\*\*・白川 隆(野菜茶研\*・花き研\*\*・岐阜農技セ\*\*\*・埼玉農総セ\*\*\*\*・徳島農総セ)  
日本におけるハウレンソウベと病菌レースPfs:6および8の発生について
- 2 10:32 ○佐藤 衛・築尾嘉章・松下陽介(花き研)  
ベゴニア根腐病(新称)および茎腐病(病原追加)
- 3 10:44 藤永真史・○小木曾秀紀・山岸菜穂・竹内 純\*・森脇丈治\*\*・佐藤豊三\*\*\* (長野野花試\*・東京都農林水産セ大島\*\*・富山農総セ園研\*\*\*・生物研)  
セルリーに発生した *Colletotrichum simmondsii* による萎縮炭疽病(新称)

---

座長:古谷綾子

- 4 10:56 ○堀田光生(農環研)  
日本産青枯病菌の *sequevar* と病原性との関係
- 5 11:08 ○加藤 寛・富村健太・奥田 充\*・岩波 徹(果樹研\*・九沖農研)  
カンキツグリーニング病原細菌ゲノムに見られた単純繰り返し配列のフロリダ分離株における多様性
- 6 11:20 ○岩波 徹・太田 智(農研機構 果樹研究所)  
カンキツグリーニング病に対するレモン品種の感受性
- 7 11:32 ○加藤太朗・諸星知広・對馬誠也\*・池田 宰(宇都宮大工\*・農環研)  
継代培養中に出現する *Burkholderia glumae* のコロニー変異菌における培養液pHとQuorum Sensing物質 *N*-Acyl Homoserine Lactone蓄積量について
- 8 11:44 ○池田健太郎・漆原寿彦\*・古屋 修・三木静恵・柴田 聡(群馬農技セ\*・群馬県吾妻農業事務所)  
ポリカーバメート剤散布によるアジサイ斑点細菌病の防除

---

<昼休み> 11:56~13:30

関東部会役員会 (2階 第1会議室, 12:10~13:10)

9月16日(木)午後

---

特別講演

講演50分, 討議10分

座長：花田 薫

13:30 夏秋 知英氏(宇都宮大学農)・安原 壽雄氏(微化研)・小坂 能尚氏(京都生資セ)  
植物ウイルス病ワクチンの開発・製品化とその弱毒化機構

---

<休憩> 14:30~15:00

---

座長：森山裕充

- 9 15:00 ○沼田慎一・小河原孝司\*・岡部 克\*\*・河又 仁(茨城農総セ生工研\*・茨城農総セ園研\*\*・茨城農総セ)  
キク茎えそウイルス(CSNV)によるピーマンえそ輪点病(仮称)の発生
- 10 15:12 ○久保田健嗣・宇杉富雄・富高保弘・東山みや子\*・小坂能尚\*・津田新哉(中央農研\*・京都農技セ生資セ)  
トウガラシえそモザイクウイルスによるトウガラシえそモザイク病(新称)の発生
- 11 15:24 ○富高保弘・宇杉富雄・小塚玲子\*・津田新哉(中央農研\*・千葉農総セ)  
千葉県における *Colombian datura virus* によるトマトモザイク病の発生
- 12 15:36 ○伊藤(川口)陽子・宇杉富雄・津田新哉(中央農研)  
国内に発生したウメ輪紋ウイルス(PPV)の宿主域調査とモモアカアブラムシによる媒介試験
- 13 15:48 ○松下陽介・宇杉富雄\*・津田新哉\*(花き研\*・中央農研)  
トマト退緑萎縮ウイルスとポテトスピンドルチューバーウイルスを同時に検出・同定するマルチプレックスRT-PCR法の改良
- 

座長：生井 潔

- 14 16:00 ○黒澤 佑太・樋口 恭子・三輪 睿太郎・横田 健治(東農大院農・農化)  
拮抗性 *Bacillus* 属細菌が生産する抗菌性リポペプチドの病害抵抗性誘導能
- 15 16:12 黒澤 佑太・荒木 潤・樋口 恭子・三輪 睿太郎・○横田 健治(東農大・生応化)  
抗菌性リポペプチドiturinの病害抵抗性誘導能  
～葉面処理による病害抑制効果～
- 16 16:24 ○藤川貴史・佐藤衛・神頭武嗣\*・山田 真\*\*・石渡正紀\*\* (農研機構花き研, \*兵庫県農技総セ, \*\*パナソニック電工(株))  
バラの防御関連遺伝子はUV-B照射によって発現誘導される
- 17 16:36 ○鈴木美帆・鈴木 拓・高島有哉・石栗 太・飯塚和也・吉澤伸夫・横田信三(宇都宮大農)  
組織化学的観察及びペルオキシダーゼアイソザイム分析によるカバノアナタケ菌IO-U1株に対するシラカンバNo. 8幼植物体の防御応答の解明

- 18 16:48 ○石原岳明・中保一浩(中央農研)  
青枯病抵抗性トマト品種における $\beta$ -1,3-glucanase遺伝子の発現様式
- 

17:30~19:30 懇親会(つくば国際会議場内 1F 「エスポワール」)

---

## 9月17日(金)午前

---

座長：小坂橋基夫

- 19 10:30 ○佐藤豊三・埋橋志穂美\*・澤岨哲也\*\*(生物研\*・AAFCカナダ・\*\*沖農研セ)  
*Ipomoea*属植物白さび病の菌えいと奇形病徴の再現および病原の再同定
- 20 10:42 ○岡部郁子・平岡久明\*・三木一嘉\*\*・江原靖博\*\*・月星隆雄・菅原幸哉(畜産草地研\*・FAMIC\*\*・長野県野花試)  
飼料用トウモロコシの登熟過程におけるフザリウム菌毒素の一種, フモニシンの蓄積量の経時変化
- 21 10:54 ○島田 峻・馬場達也・中島雅己・阿久津克己(茨城大農)  
*Botrytis tulipae*におけるG $\alpha$ タンパク質(BTG3)の病原性への関与について
- 

座長：山次康幸

- 22 11:06 ○神谷昌希・柳澤広宣・栗原金光(横浜植物防疫所)  
RT-LAMP法による*Blueberry scorch virus* の検出
- 23 11:18 ○長岡(中菌)栄子・大木健広・梁 宝成\*・小坂能尚\*\*・花田 薫(中央農研\*・京都微研\*\*・京都農技セ 生資セ)  
キュウリモザイクウイルス(CMV)サテライトRNAの導入によるCMVワクチン株の改良
- 24 11:30 ○佐々木厚子・中村仁・澤島拓夫・鈴木信弘\*・兼松聡子(果樹研\*・岡大植物研)  
白紋羽病菌W287株に感染しているL1 dsRNAのシーケンス解析
- 25 11:42 ○浦山俊一・太田智子・有江力・寺岡徹・福原敏行・森山祐充(農工大院農)  
イネいもち病菌マイコウイルス(MoCV1)由来タンパク質のパン酵母細胞内における発現解析
- 

<昼休み> 11:54~13:30

9月17日(金)午後

座長：笹谷孝英

- 26 13:30 ○白子幸男・前島秀和\* (東大アジア生資研・\*長野県農試)  
ムギ類萎縮ウイルス国内分離株の遺伝子構造に基づく比較
- 27 13:42 ○艸香將稔・白子幸男\*(東大院農・\*東大アジア生資研)  
ムギ類萎縮ウイルスベクターを用いたオオムギ縞萎縮ウイルスタンパク質発現の試み
- 28 13:54 ○岡野夕香里・白石拓也・煉谷裕太郎・山次康幸・難波成任(東大院農)  
ポインセチアモザイクウイルス (poinsettia mosaic virus; PnMV) の遺伝的多様性: 高頻度のフレームシフト領域と祖先型アミノ酸モチーフ
- 29 14:06 ○小林利広・西川尚志\*・吉澤紗奈恵\*・志村貴大\*・夏秋知英(宇都宮大農・\*宇都宮大バイオ)  
各種オオムギ縞萎縮ウイルス抵抗性品種における翻訳開始因子の変異
- 30 14:18 ○岩堀圭佐・河越優実・武田薫・清時光恵・中村友紀・前田孚憲・井村喜之(日大生物資源)  
分子シャペロンDnaJはキュウリでのズッキーニ黄斑モザイクウイルスの感染・増殖に関与する

座長：富田恭範

- 31 14:30 ○石川浩司・樋口泰浩・黒田智久・岩田大介(新潟農総研作物研)  
イネ墨黒穂病被害籾の風選別による除去
- 32 14:42 ○石井英夫・西村久美子・田村幸吉\*・Deepak S. A. (農環研・\*丸善製薬(株))  
ユッカほか植物抽出物及びサポニン精製画分の発病抑制効果
- 33 14:54 ○金子洋平・牛尾進吾(千葉農林総研)  
ナシ開花期～幼果期における黒星病及び心腐れ症の薬剤による防除

15:06 閉会挨拶 (関東部会長：阿久津克己)